

研究計画・研究資金検討分科会委員の皆様

第2回科学者委員会のご報告

本日1月29日午前に第2回科学者委員会（三成委員長）が開催され、その中の分科会報告で、議事録（案）に基づいて、第1回研究計画・研究資金検討分科会の報告：本分科会の3つのタスク

- 1) 大型研究の計画に関する検討・審査
- 2) 研究資金（科研費・寄付金等）に関する諸問題の検討
- 3) 研究評価基準に関する問題の整理と課題の抽出

についての活動方針について説明させていただきました。

2)及び3)については分科会の方針に異論がでませんでした。

1) の大型研究計画については、分科会の方針は、具体的課題は今後詰める必要がありますが、マスタープラン2020を実施する方向であることを、出来る限り早く学術コミュニティ、大学・研究機関等に周知する必要があること、を報告し、理解が得られました。2月の本分科会（現在日程を含めて調整中）で分科会としての決定と粗粗のスケジュールを作り、（間に合えば）2月22日の幹事会です承し公表することとなりました。

また、分野の公平性を保つための分科会委員の追加についても理解が得られました。

委員会後に三成委員長と短い会合を持ち、2)と3)のフォローアップは是非進めてほしいこと、負担が大きい場合は、分科会委員だけでなくその他の会員・連携会員を入れた小分科会をつくることが可能である、との助言を頂きました。

以上ご報告です。2月開催予定の第2回分科会では、マスタープラン2020を実施することの決定と粗粗のスケジュール（2017年に比べ3ヶ月早くスタートしているので2018年10月に公募要項の公表、2019年の2-3月に公募程度で良いように思います?）、及び今後検討すべき課題の洗い出し（事前に素案を作りお諮りいたします）、提言のフォローアップの体制、等々を検討できればと思います。ご意見やアイデアを頂ければ幸いです。

今後ともよろしくお願いいたします。

2018年1月29日
分科会委員長 藤井良一

大型研究計画の検討すべき課題について

(文中の頁は第 1 回分科会資料を参照)

1) 大型研究の分類：大型施設と大規模研究

＜この分類のままで良いことを確認＞

2) 今回の改訂のステータス

＜今回の改訂は大改訂であることを確認＞

3) 過去の大型研究計画の位置付け（時限を設けるか）？

＜大改訂であることから改訂が必要。そもそも大型研究計画として大凡 10 年程度を想定していることから、過去に提案され採択されている課題に時限を設けるか？

2011 年のものには大幅な改訂か出し直しを、2014, 2017 の課題には改訂を求めるか？＞

4) 過去の重点大型研究計画の位置付け（時限を設けるか）？

＜重点といっても予算化されていないものも多いことを考慮すると、過去の認定を尊重すべきか？時限を設ける場合は 10 年程度か？＞

＜分野によってライフタイムが異なることをどのように考慮するか？第 2 部は短い？＞

5) 公募対象：区分 1（新規応募計画及びマスタープラン 2014（2017）区分①掲載の計画）

区分 2（マスタープラン 2014(2017)掲載され、かつ現在実施中・進行中）

＜この区分で良いか？良い場合、区分 2 の定義が曖昧なので、より明確に定義すべきではないか？→どの程度実施されていれば区分 2 とするのか等＞

6) 研究領域：2014 学術研究領域 プラス

- 生命科学融合領域
- 理工学工学融合領域、
- 人文・社会科学、生命科学、理工学工学の内 2 分野以上に関わる融合領域
(P.44 研究領域一覧 P. 47 に 3 つの新融合領域)

＜融合領域の見直し、追加等の必要性の検討

→ 分野別委員会や学協会、研究機関の意見を聞くべきではないか？＞

7) 提案者：研究・教育機関長又は部局長等、学術会議会員・連携会員、学協会長等

＜提案者（上記 3 分類の提案数 P.65 参照）を拡大する必要があるか？

現状のように機関や学協会等の承認を求める方が責任体制としては良いか？＞

8) 大型研究計画の評価

8-1) 評価小委員会

人文社会科学分野：第 1 部全体に対する評価小委員会

生命科学及び理学・工学分野：各々の分野別委員会に対応する評価小委員会

融合領域：関連する分野の評価小委員会の評価結果を参考に分科会で評価

(P. 51-52 評価小委員会リスト)

＜このような体制で良いか？融合領域の体制はこれで良いか

→ 分野別委員会や学協会、研究機関の意見を聞くべきではないか？＞

8-2) 評価の観点：計画の学術的意義、科学者コミュニティの合意、計画の実施主体と妥当性、
共同利用体制の充実度、社会的価値（国民の理解、知的価値、
経済的・産業的価値等）大型研究計画としての適否（p. 53~55）

＜この評価の観点で良いか確認＞

9) 重点大型研究計画の評価（P. 24）

9-1) 重点大型研究計画審査小委員会（分科会及び評価小委員会の委員長で）

＜この体制で良いか？融合領域は現状で良いか？

→ 分野別委員会や学協会、研究機関の意見を聞くべきではないか？＞

9-2) 評価の観点：計画の学術的意義、実施主体の明確性、計画妥当性、成熟度、共同利用体制
の充実度、社会的価値（国民の理解、知的価値、経済的・産業的価値等）大型
研究計画としての適否、国家としての戦略性、緊急性、予算化のための計画の
準備状況

＜この評価の観点で良いか確認：特に重点が置かれた観点があるか？国際的要請等、
上記以外の評価の基準が必要ではないか？（文科省のロードマップでは国際的な
要請が考慮されたと側面する＞

9-3) 審査及び評価のプロセス（P. 60）

9-3-1) ヒアリングは別表 1（P. 62）の分野別目安で選ぶ（各分野の応募数の 1/2 から 1/3）

＜この目安で良いか？分野別はヒアリング段階では余り問題は無いようにも思うが、
融合領域はどうするか？＞

9-3-2) トータルで 25-30 件

＜この数で良いか？過去の重点大型研究計画の扱いは？＞

9-3-3) 各部から一定数程度（2~3）の計画が重点大型に含まれるように配慮する

＜この配慮を続けるか？＞

参考：

マスタープラン 2017 の結果：

ヒアリング（65 件）：P. 36 重点大型（28 件）：P. 18~19

9 件の大型施設計画と 19 件の大規模研究計画（その内 融合研究は 2 件と 4 件）

28 件中 18 件は Masterplan2014 でも重点に選ばれていた計画。

以下の参考資料は「提言 第23期学術の大型研究計画に関するマスタープラン（マスタープラン2017）」 2017/2/8 日本学術会議科学者委員会学術の大型研究計画分科会（研計24-1-3c参照） から引用している。下記の頁は提言を再掲した第1回分科会資料の頁を示す。

参考資料 1（第1回分科会資料 P. 23）

1）学術大型研究計画の定義と分類

学術大型研究計画は、長期（5～10 年あるいはそれ以上）の実施期間と総額数十億円を超える予算規模を有し、「日本の展望—学術からの提言2010」等を踏まえた学術のビジョンや体系に立脚した、各学術分野が必要とする大型施設計画若しくは大規模研究計画である。

大型施設計画は、最先端の研究を切り開くことを目的とし、科学者コミュニティの合意の下に、大学共同利用機関等が主体となって大型施設及びそれに付随する装置や設備を建設・整備し運用する計画であり、その施設は、コミュニティの研究者によって共用される。

大規模研究計画は、分野の研究者が一致して認める重要課題について、長期間にわたって多くの研究者を組織し観測や研究を推進する、あるいは大規模なデータ収集組織やデータベースを構築し、その効果的利用を推進する等、大きな規模の計画的研究の展開によって新たな知を創造する計画である。

さらに、学術大型研究計画の中から、特に速やかに推進すべき計画を選定し、重点大型研究計画とした。

参考資料2

5) 公募対象 (P. 24)

区分Ⅰ（新規応募計画及びマスタープラン2014区分Ⅰ掲載の計画）

区分Ⅱ（マスタープラン2014 に掲載され、かつ現在実施中・進行中の計画）

マスタープラン (MP) 2017では

区分Ⅰには166件の応募があり、そのうち163件を採択 (P.29～35)

区分Ⅱには16件の応募があり、そのうち16件を採択 (P.36)

参考資料 3

6) 学術研究領域 (p. 24, P. 44～47 (次頁以降参照))

MP2017で新たに導入した(1) 生命科学融合領域、(2) 理学工学融合領域、(3) 人文・社会科学、生命科学、理学工学の内2分野以上に関わる融合領域、で採択された大型研究計画 (P. 34～35) は、

計画No. 130～161 (12課題：内(1) 1件、(2) 4件、(3) 7件

参考資料3

参考資料2 学術研究領域一覧

No.	分野別 委員会	学術領域 番号	学術研究領域	No.	分野別 委員会	学術領域 番号	学術研究領域
1	言語・文学 委員会	1-1	日本文学	6	地域研究 委員会	6-1	地域研究
		1-2	外国文学			6-2	国際協力学
		1-3	日本語学・外国語学・ 言語学			6-3	地域情報学
		1-4	日本語教育・外国語教育			6-4	地理学
2	哲学 委員会	2-1	哲学・倫理学			6-5	地域学
		2-2	アジア思想			6-6	地理情報科学
		2-3	日本思想			6-7	人類学
		2-4	宗教学・宗教史			6-8	人間地球環境学
		2-5	美学・芸術学			6-9	地域統合論
		2-6	応用哲学			6-10	災害復興論
		2-7	比較思想	7	法学委員会	7-1	比較文化と結びついた 比較法
		2-8	科学哲学			7-2	法学のグローバル化
3	心理学・ 教育学 委員会	3-1	人間社会の持続的発展に こたえる心の科学			7-3	開発法学
		3-2	動物行動の柔軟な適応と 集団行動創発			7-4	現代の法教育
		3-3	法と人間科学			7-5	社会と市民の持続可能性と 法
		3-4	融合的社会脳			7-6	情報化社会・IT社会と法
		3-5	心の先端研究			7-7	近代の法システムの再構築
		3-6	乳幼児保育・教育			7-8	地球環境と法
		3-7	学校教育・教科教育			7-9	ジェンダーと法
		3-8	高等教育・生涯教育・教師 教育			7-10	法学の可視化
		3-9	教育行財政・国際教育	8	政治学 委員会	8-1	政治思想・政治史
		3-10	教育学理論・教育学研究法			8-2	比較政治
4	社会学 委員会	4-1	リスク社会			8-3	行政学・地方自治
		4-2	情報社会			8-4	国際政治
		4-3	持続可能社会			8-5	政治過程
		4-4	グローバル化			8-6	統計調査・意識調査
		4-5	多文化共生・マイノリティ			8-7	社会保障と政治
		4-6	社会格差・社会階層と移動			8-8	ジェンダーと政治
		4-7	社会調査			8-9	政治関連データベース
		4-8	ジェンダー研究			8-10	政治学総合
		4-9	社会システム学	9	経済学 委員会	9-1	理論経済学
		4-10	社会福祉学			9-2	経済学説・経済思想
5	史学 委員会	5-1	史学一般			9-3	経済統計・人口統計
		5-2	日本史			9-4	応用経済学
		5-3	東洋史			9-5	経済政策
		5-4	西洋史			9-6	財政・公共経済学
		5-5	考古学			9-7	金融・ファイナンス
		5-6	世界史			9-8	経済史
		5-7	史料学			9-9	行動経済学・実験経済学

No.	分野別 委員会	学術領域 番号	学術研究領域	No.	分野別 委員会	学術領域 番号	学術研究領域
10	経営学 委員会	10-1	経営戦略論	14	農学委員会	14-1	食の安全保障
		10-2	経営組織論			14-2	グローバル食・エネルギー 資源開発と生産
		10-3	経営管理論			14-3	次世代ゲノム育種
		10-4	マーケティング			14-4	農業環境システムイノベー ション
		10-5	人材開発論			14-5	持続共生社会創成
		10-6	経営工学			14-6	持続的森林管理とバイオ マスの利用
		10-7	経営情報学			14-7	昆虫科学の大規模基盤 構築と近未来技術
		10-8	財務会計論			14-8	大規模変動対応型土壌 保全
		10-9	管理会計論			14-9	植物保護
		10-10	監査論				
11	人文・社会 科学融合領 域	11-1	エビデンスにもとづく政策 形成	15	食料科学 委員会	15-1	マリンイノベーション
		11-2	人文・社会科学の国際発信			15-2	新飼料種苗と新家畜品種 候補の探索と創成
		11-3	史資料調査とアーカイブ構築			15-3	循環型農業システムの構築
		11-4	ジェンダー研究			15-4	産業動物・伴侶動物ライフイ ノベーション
		11-5	社会的包摂 / 排除の研究			15-5	ヒトと動物の共通感染症
		11-6	アジアの学術交流			15-6	微生物機能開発
12	基礎生物学 委員会	12-1	基礎生命科学の知の拠点 形成	15-7	天然物・植物ケミストリー		
		12-2	ヒト多様性のゲノム科学	15-8	統合情報システム化による フードイノベーション		
		12-3	生物多様性のゲノム・環境 基盤解明	15-9	水・土・生物の微生物叢の 網羅的解析と利用		
		12-4	生命のシステムレベル研究	16	基礎医学 委員会	16-1	脳による心身の機能制御と その破綻
		12-5	バイオイメージング			16-2	生体機能システムの理解・ 予測・制御
		12-6	発生生物学・細胞生物学			16-3	形態・細胞生物医科学
		12-7	海洋生物の探査と利用			16-4	免疫
		12-8	動物科学			16-5	ヒト生命情報統合研究
		12-9	植物科学			16-6	病原体学
		12-10	微生物科学			16-7	工学技術による医学・医療 の革新
13	統合生物学 委員会	13-1	バイオインフォマティクス			16-8	実験動物
		13-2	中・大型ワイルドライフの 保全	17	臨床医学 委員会	17-1	臨床医学と基礎医学の知の 結集
		13-3	生態・環境			17-2	再生医療
		13-4	人類の由来			17-3	臨床医学における最先端 イメージング
		13-5	過去・現在・未来をつなぐ 自然史			17-4	疾患ゲノム／ゲノムコホート 人の健康を守る総合的放射 線研究
		13-6	生物進化			18	健康・生活 科学委員会
		13-7	自然史財の保護と利用の 高度化	18-2	長寿社会を推進する学際的 ジェロントロジーの構築		
				18-3	ケアサイエンス研究		
				18-4	安全と安心の探究		
				18-5	国民の生活と健康寿命		

No.	分野別 委員会	学術領域 番号	学術研究領域
19	歯学委員会	19-1	先端口腔科学研究
20	薬学委員会	20-1	精密合成とグリーンケミストリーの基盤整備
		20-2	ケミカルバイオロジーの研究基盤整備
		20-3	ゲノム解析とインフォマティクスによる医薬品開発
		20-4	疾患生物学に基づく分子標的薬の開発
		20-5	抗体医薬等に対するバイオリジクス研究
		20-6	バイオ(分子)イメージングや動態予測の技術開発
		20-7	ナノテクノロジーを基盤としたDDS開発と創薬
		20-8	遺伝子情報の医薬品開発や個別化医療への応用
		20-9	遺伝子治療や再生医療等の細胞・組織の医薬応用
		20-10	生薬等医薬資源の科学の構築と医療展開
21	環境学委員会	21-1	環境計測・動態解析・モデリング学
		21-2	環境影響・リスク評価学
		21-3	環境技術
		21-4	資源循環学
		21-5	自然共生学
		21-6	生物多様性保全学
		21-7	環境計画・政策学
		21-8	環境教育
		21-9	持続可能性科学
		21-10	放射線・化学物質健康影響科学
22	数理科学委員会	22-1	数理科学
23	物理学委員会	23-1	物性物理学・一般物理学
		23-2	素粒子物理学・原子核物理学
		23-3	天文学・宇宙物理学
24	地球惑星科学委員会	24-1	大気・水圏科学
		24-2	宇宙惑星科学
		24-3	固体地球科学
		24-4	地球生命科学
		24-5	地球人間圏科学

No.	分野別 委員会	学術領域 番号	学術研究領域
25	情報学委員会	25-1	情報基礎学
		25-2	ソフトウェア学
		25-3	情報システム工学
		25-4	情報ネットワーク工学
		25-5	データ工学
		25-6	情報セキュリティ・ディペンダビリティ工学
		25-7	知覚情報学
		25-8	知能情報学
		25-9	メディア情報学
		25-10	社会情報学
26	化学委員会	26-1	分析化学・計測科学
		26-2	無機化学
		26-3	高分子
		26-4	有機化学
		26-5	物理化学・理論
		26-6	生物化学・バイオ
		26-7	環境化学・地球化学
		26-8	材料・ナノ科学
		26-9	エネルギー
		26-10	健康・安心
27	総合工学委員会	27-1	応用物理学 (学術研究小領域) 1.統合エレクトロニクス研究領域 2.新材料・プロセス技術研究領域 3.基礎基盤、新分野開拓領域 4.ライフ・バイオ領域 5.環境・エネルギー領域 6.安心・安全技術領域
		27-2	知の統合学
		27-3	エネルギー学
		27-4	安全工学

No.	分野別 委員会	学術領域 番号	学術研究領域
27	総合工学 委員会 (続き)	27-5	放射線工学 (学術研究小領域) 1.放射線利用工学 2.放射線生物影響学
		27-6	グローバル資源学
		27-7	計算科学 (学術研究小領域) 1.計算科学 2.計算基盤
		27-8	航空宇宙工学
		27-9	船舶・海洋工学
		27-10	プラズマ科学
28	機械工学 委員会	28-1	機械材料・材料力学
		28-2	熱・流体力学
		28-3	機械力学・制御
		28-4	計算力学
		28-5	設計・生産工学
		28-6	マイクロナノ工学
		28-7	ロボティクス・機械システム
		28-8	環境・エネルギー工学
29	電気電子 工学委員会	29-1	電力応用システム技術
		29-2	計測・制御技術
		29-3	電子デバイス・電子機器
		29-4	情報通信基盤科学技術
		29-5	情報通信社会基盤システム
		29-6	光・電波技術
		29-7	医療電子技術
30	土木工学・ 建築学 委員会	30-1	構造工学
		30-2	地盤工学
		30-3	水工学
		30-4	防災・減災学
		30-5	運輸・交通工学
		30-6	都市・地域・建築計画学
		30-7	環境・設備・エネルギー工学
		30-8	歴史・景観・デザイン学
		30-9	建設生産・建設材料学
		30-10	ストックマネジメント

No.	分野別 委員会	学術領域 番号	学術研究領域
31	材料工学 委員会	31-1	材料システム工学
		31-2	材料プロセス工学
		31-3	材料解析・診断学
		31-4	社会インフラ材料学
		31-5	グリーン・エネルギー材料学
		31-6	医療・バイオ材料学
		31-7	デバイス材料学
		31-8	材料ゲノム工学
		31-9	理論・計算材料工学
		31-10	材料の物理と科学 (材料リテラシー学)
32	生命科学 融合領域	32-1	生命科学融合領域
33	理学・工学 融合領域	33-1	理学・工学融合領域
34	人文・社会科学、 生命科学、理学・ 工学のうち2分 野以上に関わる 融合領域	34-1	人文・社会科学(第一部)、 生命科学(第二部)、理学・ 工学(第三部)のうち2分野 以上に関わる融合領域

参考資料4

参考資料9 提案者の分類

区分Ⅰ 提案者の分類

	応募提案	学術大型 研究計画	ヒアリング	重点大型 研究計画
①研究・教育機関長または部局長等	66 (22)	64 (20)	23 (12)	13 (9)
②日本学術会議会員・ 連携会員	70	70	29	11
③学協会長等	30 (12)	29 (12)	13 (7)	4 (2)
合計	166	163	65	28

区分Ⅱ 提案者の分類

	学術大型 研究計画
①研究・教育機関長または部局長等	11 (7)
②日本学術会議会員・ 連携会員	2
③学協会長等	3 (2)
合計	16

() 内は①③のうち日本学術会議会員・連携会員でもある提案者数

参考資料 4 各分野の大型研究計画評価小分科会委員一覧

評価小分科会 委員一覧（敬称略）				※平成28年3月24日 日本学術会議第226回幹事会決定						
対応分野別 No. コード	1～11		12		13		14		15	
評価小分科会 名／人数	人文・社会科学分野の大型研究 計画評価小分科会		基礎生物学分野の 大型研究計画評価小分科会		統合生物学分野の 大型研究計画評価小分科会		農学分野の 大型研究計画評価小分科会		食料科学分野の 大型研究計画評価小分科会	
1	大塚啓二郎	第一部会員	岸本 健雄	第二部会員	巖佐 庸	第二部会員	大杉 立	第二部会員	尾崎 博	第二部会員
2	岡田真美子	第一部会員	近藤 孝男	第二部会員	長野 哲雄	第二部会員	大政 謙次	第二部会員	甲斐知恵子	第二部会員
3	金子 元久	第一部会員	塩見美喜子	第二部会員	山極 壽一	第二部会員	川井 秀一	第二部会員	嶋田 透	第二部会員
4	梶 茂樹	第一部会員	嶋田 透	第二部会員	斎藤 成也	連携会員	倉田 のり	第二部会員	清水 誠	第二部会員
5	河田 潤一	第一部会員	城石 俊彦	第二部会員	辻 和希	連携会員	嶋田 透	第二部会員	渡部 終五	第二部会員
6	川本 明人	第一部会員	中野 明彦	第二部会員	馬場 悠男	連携会員	奥野 員敏	連携会員	植田 和光	連携会員
7	久保 亨	第一部会員	西村いくこ	第二部会員	美宅 成樹	連携会員	小野 正人	連携会員	木村 直子	連携会員
8	小松 久男	第一部会員	福田 裕穂	第二部会員	吉田 丈人	連携会員	立川 雅司	連携会員	清水 浩	連携会員
9	小森田秋夫	第一部会員	藤吉 好則	第二部会員	渡辺 茂	連携会員	松本 宏	連携会員	眞鍋 昇	連携会員
10	杉田 敦	第一部会員					間藤 徹	連携会員	三輪 清志	連携会員
11	恒吉 僚子	第一部会員					宮崎 毅	連携会員		
12	町村 敬志	第一部会員								
13	松本 恒雄	第一部会員								
14	宮崎 恒二	第一部会員								
15	山川 充夫	第一部会員								
委員長	小森田秋夫	第一部会員	中野 明彦	第二部会員	巖佐 庸	第二部会員	川井 秀一	第二部会員	清水 誠	第二部会員
対応分野別 No. コード	16		17		18		19		20	
評価小分科会 名／人数	基礎医学分野の 大型研究計画評価小分科会		臨床医学分野の 大型研究計画評価小分科会		健康・生活科学分野の 大型研究計画評価小分科会		歯学分野の 大型研究計画評価小分科会		薬学分野の 大型研究計画評価小分科会	
1	石川 冬木	第二部会員	磯部 光章	第二部会員	秋葉 澄伯	第二部会員	東 みゆき	第二部会員	清木 元治	第二部会員
2	笹川 千尋	第二部会員	春日 雅人	第二部会員	太田喜久子	第二部会員	古谷野 潔	第二部会員	長野 哲雄	第二部会員
3	清水 孝雄	第二部会員	戸山 芳昭	第二部会員	小川 宣子	第二部会員	丹沢 秀樹	第二部会員	平井みどり	第二部会員
4	永井 良三	第二部会員	永井 良三	第二部会員	片田 範子	第二部会員	永井 良三	第二部会員	奥 直人	連携会員
5	本間 さと	第二部会員	別役 智子	第二部会員	神谷 研二	第二部会員	山口 朗	第三部会員	堅田 利明	連携会員
6	小幡 裕一	連携会員	寶金 清博	第二部会員	田畑 泉	第二部会員	朝田 芳信	連携会員	菅野 純	連携会員
7	高濱 洋介	連携会員	前原 喜彦	第二部会員	長野 哲雄	第二部会員	佐々木啓一	連携会員	佐治 英郎	連携会員
8	田中 啓治	連携会員	宮坂 信之	第二部会員	那須 民江	第二部会員	中村 誠司	連携会員	橋田 充	連携会員
9	藤本 豊士	連携会員	桃井真里子	第二部会員	吉野 博	第三部会員	平田 雅人	連携会員	望月 眞弓	連携会員
10	三品 昌美	連携会員	森 正樹	第二部会員	澁川 祥子	連携会員	前田 健康	連携会員	安原 真人	連携会員
11			山下 俊一	第二部会員	宮地 元彦	連携会員	宮崎 隆	連携会員		
12			山脇 成人	第二部会員			村上 伸也	連携会員		
13			小池 和彦	連携会員			森山 啓司	連携会員		
14			中畑 龍俊	連携会員			矢谷 博文	連携会員		
15										
委員長	清水 孝雄	第二部会員	中畑 龍俊	連携会員	那須 民江	第二部会員	古谷野 潔	第二部会員	清木 元治	第二部会員
対応分野別 No. コード	21		22		23		24		25	
評価小分科会 名／人数	環境学分野の 大型研究計画評価小分科会		数理科学分野の 大型研究計画評価小分科会		物理学分野の 大型研究計画評価小分科会		地球惑星科学分野の 大型研究計画評価小分科会		情報学分野の 大型研究計画評価小分科会	
1	岩本 康志	第一部会員	相原 博昭	第三部会員	相原 博昭	第三部会員	相原 博昭	第三部会員	荒川 薫	第三部会員
2	大政 謙次	第二部会員	北川源四郎	第三部会員	岡 眞	第三部会員	大久保修平	第三部会員	石田 亨	第三部会員
3	西條 辰義	第一部会員	小谷 元子	第三部会員	須藤 靖	第三部会員	川口淳一郎	第三部会員	尾家 祐二	第三部会員
4	中村 尚	第三部会員	坪井 俊	第三部会員	田島 節子	第三部会員	木村 学	第三部会員	北川源四郎	第三部会員
5	吉野 博	第三部会員	萩原 一郎	第三部会員	観山 正見	第三部会員	高橋 桂子	第三部会員	喜連川 優	第三部会員
6	青柳みどり	連携会員	石井志保子	連携会員	伊藤 公孝	連携会員	中村 尚	第三部会員	柴山 悦哉	第三部会員
7	石川 幹子	連携会員	小澤 徹	連携会員	江口 徹	連携会員	氷見山幸夫	第三部会員	土井美和子	第三部会員
8	岡本 耕平	連携会員	楠岡 成雄	連携会員	河野 公俊	連携会員	藤井 良一	第三部会員	徳田 英幸	第三部会員
9	工藤由貴子	連携会員	竹村 彰通	連携会員	駒宮 幸男	連携会員	大谷 栄治	連携会員	萩谷 昌己	第三部会員
10	櫻井 武司	連携会員	森田 康夫	連携会員	田村 裕和	連携会員	北里 洋	連携会員	東野 輝夫	第三部会員
11					森 初果	連携会員	永原 裕子	連携会員	安浦 寛人	第三部会員
12					森 正樹	連携会員	西山 忠男	連携会員		
13							花輪 公雄	連携会員		
14							春山 成子	連携会員		
15							益田 晴恵	連携会員		
委員長	吉野 博	第三部会員	坪井 俊	第三部会員	岡 眞	第三部会員	大久保修平	第三部会員	喜連川 優	第三部会員

対応分野別 No.コード	26		27		28		29		30		
評価小分科会 名／人数	化学分野の 大型研究計画評価小分科会		総合工学分野の 大型研究計画評価小分科会		機械工学分野の 大型研究計画評価小分科会		電気電子工学分野の 大型研究計画評価小分科会		土木工学・建築学分野の 大型研究計画評価小分科会		
1	阿尻 雅文	第三部会員	新井 民夫	第三部会員	新井 民夫	第三部会員	大西 公平	第三部会員	磯部 雅彦	第三部会員	
2	加藤 昌子	第三部会員	川口淳一郎	第三部会員	有信 睦弘	第三部会員	柴山 悦哉	第三部会員	小松 利光	第三部会員	
3	川合 眞紀	第三部会員	柴山 悦哉	第三部会員	岡崎 健	第三部会員	波多野睦子	第三部会員	高原 淳	第三部会員	
4	北川 進	第三部会員	鈴置 保雄	第三部会員	厨川 常元	第三部会員	保立 和夫	第三部会員	吉野 博	第三部会員	
5	高原 淳	第三部会員	中村 崇	第三部会員	柴山 悦哉	第三部会員	吉田 進	第三部会員	依田 照彦	第三部会員	
6	中村 栄一	第三部会員	萩原 一郎	第三部会員	福山満由美	第三部会員	大橋 弘美	連携会員	小峯 秀雄	連携会員	
7	橋本 和仁	第三部会員	渡辺美代子	第三部会員	藤井 孝蔵	第三部会員	河村 篤男	連携会員	仙田 満	連携会員	
8	藤田 照典	第三部会員	荒川 泰彦	連携会員	金子 真	連携会員	河野 隆二	連携会員	田中 稲子	連携会員	
9	山内 薫	第三部会員	河田 聡	連携会員	岸本喜久雄	連携会員	小林 一哉	連携会員	道奥 康治	連携会員	
10	渡辺 芳人	第三部会員	柴田 徳思	連携会員	北村 隆行	連携会員	津田 俊隆	連携会員	望月 常好	連携会員	
11	岩澤 康裕	連携会員	原 辰次	連携会員	谷下 一夫	連携会員	日高 邦彦	連携会員	米田 雅子	連携会員	
12	栗原 和枝	連携会員	松岡 猛	連携会員	新美 智秀	連携会員			和田 章	連携会員	
13	巽 和行	連携会員	矢川 元基	連携会員	菱田 公一	連携会員					
14			吉村 忍	連携会員	前田龍太郎	連携会員					
15					光石 衛	連携会員					
委員長	中村 栄一	第三部会員	荒川 泰彦	連携会員	新井 民夫	第三部会員	吉田 進	第三部会員	依田 照彦	第三部会員	
対応分野別 No.コード	31										
評価小分科会 名／人数	材料工学分野の 大型研究計画評価小分科会										
1	片岡 一則	第三部会員									
2	高原 淳	第三部会員									
3	中嶋 英雄	第三部会員									
4	中村 崇	第三部会員									
5	細野 秀雄	第三部会員									
6	松宮 徹	第三部会員									
7	吉田 豊信	第三部会員									
8	小関 敏彦	連携会員									
9	長井 寿	連携会員									
10	塙 隆夫	連携会員									
11	森口 祐一	連携会員									
12	山口 周	連携会員									
13											
14											
15											
委員長	吉田 豊信	第三部会員									

(会員・連携会員の別は平成 28 年 3 月 24 日時点)

参考資料6

参考資料6 重点大型研究計画審査小委員会委員一覧

所属・職名等は平成28年9月17日時点

(学術大型研究計画検討分科会委員)

	氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
委員長	相原 博昭	東京大学副学長・大学院理学系研究科教授	第三部会員
副委員長	永井 良三	自治医科大学学長	第二部会員
幹事	苧阪 満里子	大阪大学名誉教授・脳情報通信融合研究センター主任研究員・未来戦略機構招聘教授	第一部会員
幹事	長野 哲雄	東京大学名誉教授、東京大学創薬機構客員教授	第二部会員
	岩本 康志	東京大学大学院経済学研究科教授	第一部会員
	宮崎 恒二	東京外国語大学特命事項担当室・教授	第一部会員
	嶋田 透	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	第二部会員
	柴山 悦哉	東京大学情報基盤センター教授	第三部会員
	高原 淳	九州大学先端物質化学研究所長・主幹教授	第三部会員

(学術の大型研究計画検討分科会の下にある各分野の小分科会委員長もしくはその代理)

担当分野	氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
人文・社会科学	小森田 秋夫	神奈川大学法学部教授	第一部会員
基礎生物学	城石 俊彦	情報・システム研究機構国立遺伝学研究所副所長・教授	第二部会員
統合生物学	巖佐 庸	九州大学大学院理学研究院教授	第二部会員
農学	川井 秀一	京都大学大学院総合生存学館（思修館）学館長・特定教授	第二部会員
食料科学	清水 誠	東京農業大学応用生物科学部教授	第二部会員
基礎医学	田中 啓治	国立研究開発法人理化学研究所脳科学総合研究センター副センター長	連携会員
臨床医学	中畑 龍俊	京都大学 iPS 細胞研究所副所長・特定拠点教授	連携会員
健康・生活科学	那須 民江	中部大学生命健康科学部教授、名古屋大学名誉教授	第二部会員
歯学	丹沢 秀樹	千葉大学大学院医学研究院教授	第二部会員
薬学	清木 元治	金沢大学医薬保健研究域・医学系招聘型リサーチプロフェッサー（特任教授）、東京大学名誉教授	第二部会員
環境学	吉野 博	東北大学総長特命教授・東北大学名誉教授・秋田県立大学客員教授・前橋工科大学客員教授	第三部会員
数理科学	坪井 俊	東京大学大学院数理科学研究科教授	第三部会員
物理学	岡 眞	東京工業大学理学院教授	第三部会員
地球惑星科学	大久保 修平	東京大学地震研究所教授・高エネルギー素粒子地球物理学研究センター長	第三部会員
情報学	喜連川 優	情報・システム研究機構国立情報学研究所所長、東京大学生産技術研究所教授	第三部会員
化学	中村 栄一	東京大学総括プロジェクト機構特任教授、東京大学大学院理学系研究科特任教授、東京大学名誉教授	第三部会員
総合工学	松岡 猛	宇都宮大学基盤教育センター非常勤講師	連携会員
機械工学	菱田 公一	慶應義塾大学理工学部教授	連携会員
電気電子工学	吉田 進	京都大学特任教授・名誉教授	第三部会員
土木工学・建築学	依田 照彦	早稲田大学理工学術院創造理工学部教授	連携会員
材料工学	吉田 豊信	東京大学名誉教授	第三部会員

分野		応募件数	ヒアリング対象 件数の目安
第一部		10	4
第二部	基礎生物学	2	1
	統合生物学	2	1
	農学	11	4
	食料科学	8	3
	基礎医学	3	1
	臨床医学	4	2
	健康・生活科学	1	1
	歯学	1	1
	薬学	3	1
	合計	35	15
第三部	環境学	4	2
	数理科学	1	1
	物理学	24	7
	地球惑星科学	8	3
	情報学	16	5
	化学	4	2
	総合工学	12	4
	機械工学	4	2
	電気電子工学	5	2
	土木工学・建築学	2	1
	材料工学	4	2
	合計	84	31
第一部～第三部の合計		129	50
融合領域	生命科学融合領域	3	1
	理学・工学融合領域	9	4
	人文・社会科学、生命科学・理学・工学 のうち2分野以上に関わる融合領域	25	7
	合計	37	12
総件数		166	62

別表1 各分野（部）におけるヒアリング対象件数の目安

第 24 期研究計画・研究資金検討分科会（分科会と略す）大型研究計画策定スケジュール（案）

2018 年

- 1 月 16 日 分科会（第 1 回） 第 24 期期活動方針（含：大型研究計画）検討
2 月 20 日 分科会（第 2 回） 大型研究計画策定の実施決定とタイムスケジュール検討（案）
2 月 22 日 幹事会で大型研究計画策定の実施決定とタイムスケジュール検討
2 月 上記を学術会議ニュース等で公表・周知（案）
4 月～5 月 部会及び会員・連携会員等の意見アンケート（案）
6 月～10 月 策定方針及び公募要項の検討（案）
10 月末 策定方針公表

2019 年

2 月～3 月 公募

以下のタイムスケジュールはマスタープラン 2017 のタイムスケジュールに準拠

<参考>

第 23 期学術の大型研究計画検討分科会（分科会と略す）の策定実績

2015 年

- 4月1日 分科会（第1回） 第23期マスタープラン分科会の活動方針検討
6月3日 分科会（第2回） 第23期マスタープラン策定のためのアンケート検討
6月30日 分科会（第3回） 参考人との意見交換、アンケート検討
7月27日 分科会（第4回） 公募要領、今後の進め方等について検討
8月 夏季部会 第23期マスタープラン策定方針の報告
9月28日 分科会（第5回） 第23期マスタープラン策定方針、今後の進め方の検討
10月 総会各部会 第23期マスタープラン策定の方針の報告
10月16日 分科会（第6回） 第23期マスタープラン策定方針、今後の進め方の検討
10月27日 分科会（第7回）（MEXT研究環境基盤部会 学術研究の大型プロジェクトに関する作業部会との合同会議）
第23期マスタープランとロードマップの連携について検討
11月9日 分科会（第8回） 参考人との意見交換、第23期マスタープラン策定方針の検討
12月7日 分科会（第9回） 報告案「第23 期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」の取りまとめ
12月22日 分科会（第10回） 公募要領等について検討

2016年

1月25日 科学者委員会（第19 回）（メール審議）

報告案「第23 期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」の承認

1月25日 分科会（第11回）公募要領等について検討

1月29日 日本学術会議幹事会（第224 回）

報告「第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」

2月2日 学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針公表

2月8日 学術大型研究計画の公募開始

3月31日 学術大型研究計画の公募締め切り

6月頃 学術大型研究計画の策定

7月頃 連絡担当者に採否通知

7月頃 ヒアリング対象提案への通知

9月17-19日 ヒアリング

10月 重点大型研究計画の策定

11月 意思の表出に向けた提言（案）の作成

12月 科学者委員会審議・承認

2017 年

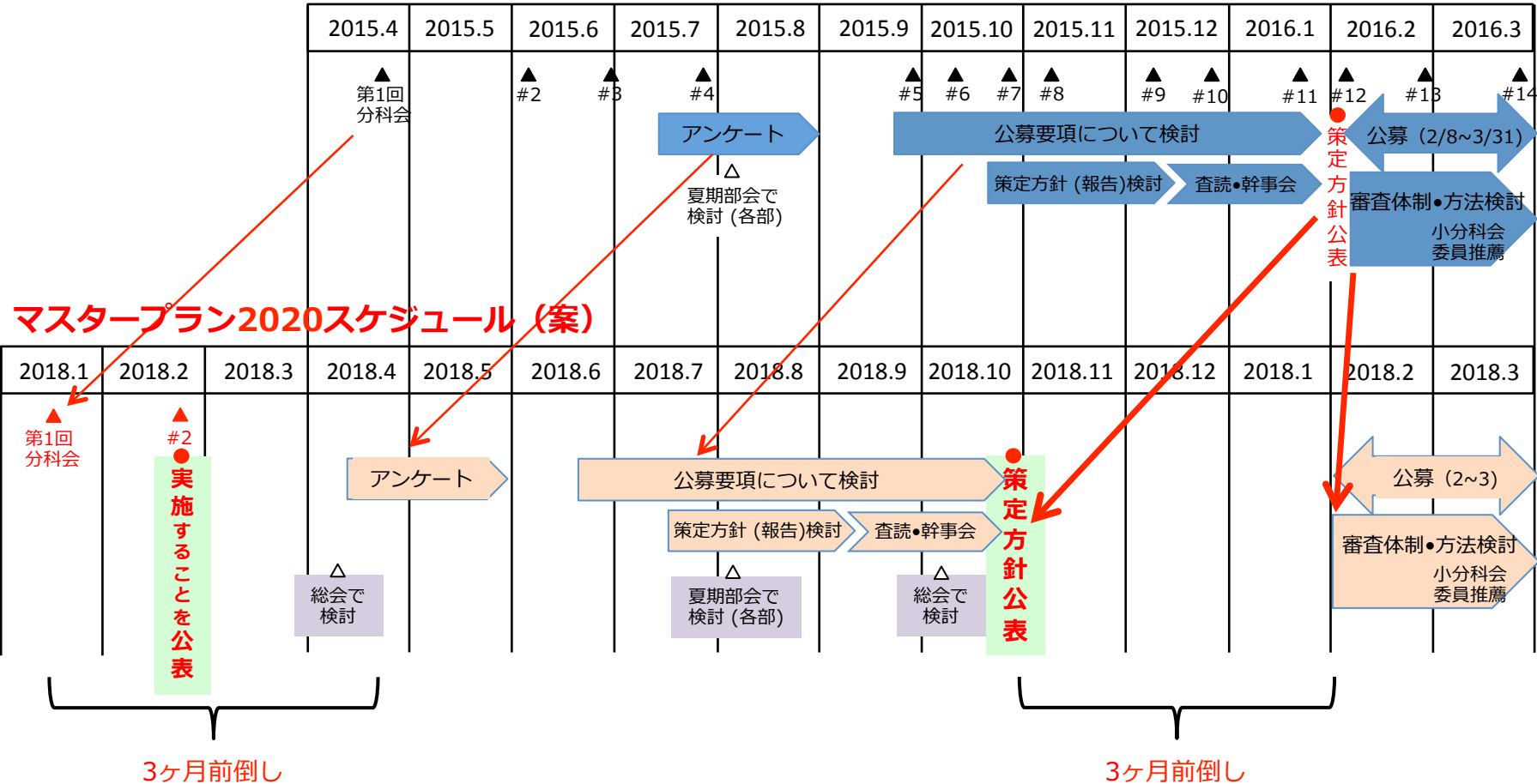
1月22日 幹事会審議・承認

1月27日 マスタープラン2017 を公表

4月 総会へ報告

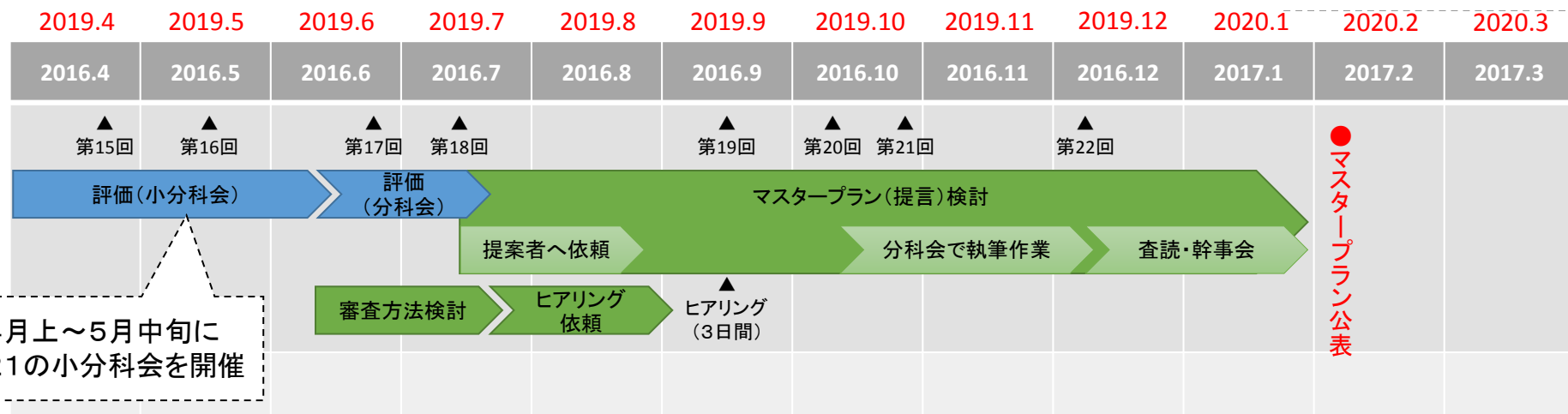
研計24-2-2d

マスタープラン2017策定実績



公募後は2017を踏襲

マスタープラン2020策定スケジュール(案)



周知文（案）

会員・連携会員、学協会、研究機関各位

日本学術会議科学者委員会研究計画・研究資金検討分科会は第 24 期学術の大型研究計画に関するマスタープラン（マスタープラン 2020）を策定することを決定いたしました。大型研究計画を提案される方々により長い準備期間を持って頂くために、現時点でまず実施することのみをお知らせいたします。マスタープラン策定の方針や公募要項については今後分科会で検討し、本年 11 月前後に皆様にお知らせする予定です。また公募は 2019 年 2 月頃に開始する予定です。

2018 年 2 月 22 日

日本学術会議科学者委員会

研究計画・研究資金検討分科会